

川崎市議会議員 いわくま ちひろ

首長と議会・議員の関係

進みらい
川崎市議会

連載No.93

東京都議選が7月に行われることもあり、連日ワイドショー等で小池新党について政局ばかりの放送が目立ちます。私は、そのような報道姿勢には非常に大きな懸念を抱いています。

なぜならば、ここに首長（都知事や市長など）と議会・議員の役割をきちんと説明するようなコメントやTwitterは存在せず、誰と誰が対立して

いるかなど政治を面白おかしく報道するような内容ばかり散見されるからです。

そもそも、議会・議員の役割とは、地方自治法第96条では、市の条例を定め、予算・決算を認定することや、同98条において市の事務に関する書類等を検閲し検査することができるなど、行政・役所の仕事を調査するチエック機能であることが大前提なのです。

か甚だ疑問です。首長と親密になることは否定しませんが、あまりに親密になり過ぎると法の主旨である議会は**チエック機関という大原則**を見失う危険性があります。

首長が誰であれ、一定の距離感を保ち、行政へのチエック機能と政策立案能力を維持することが議会・議員の務めです。

よって、新聞紙面等でも散見される首長与党派、野党派などという文言は、本来は誤った表現であると言えるでしょう。

首長も選挙で選ばれる。議員も選挙で選ばれる。**地方議会は、国とは制度が異なり二元代表制です（国は議院内閣制）。**

来る東京都議選では、党派を問わず、きちんと首長・行政機関へのチエック機能を有した人物を都民のみなさんには選んで欲しいと願ってやみません。

川崎市議会議員

いわくま ちひろ



- 昭和50年生まれ 42歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業
ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中！（10年6カ月）